

(様式 1)

令和7年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県新川文化ホール 文化振興室文化政策課

2 施設所在地
魚津市宮津110番

3 施設設置年度
平成6 年度

4 設置目的
県民の文化の向上と芸術の振興を図ることを目的とする。

5 施設概要

①建物の構造 鉄筋コンクリート造(地下2階地上4階)

②敷地面積 73,024㎡(富山県部分18,860.03㎡、魚津市部分54,163.97㎡)

③建物面積 12,797㎡(富山県専用部分8,195㎡、魚津市専用部分3,590㎡、共有部分1,012㎡県、市1/2)
(地下2階675㎡、地下1階379㎡、1階7,117㎡、2階3,636㎡、3階920㎡、4階47㎡、R階23㎡)

④施設内容 県所有 大ホール(1,186席)、小ホール(297席)、リハーサル室(249㎡)、練習室(5室)、駐車場の一部
市所有 展示ホール(842㎡)会議室(7室)、和室(3室)、常設展示室、イベント広場、駐車場の一部

⑤開設 平成6年11月
(当該施設は魚津市との共同設置施設であり、施設は富山県所有分、魚津市所有分、共有分で構成されている。)

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
3 年
令和6年4月1日 ～ 令和9年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

R3	R4	R5	R6	R7
92,223	117,636	133,082	131,527	128,183

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

R3	R4	R5	R6	R7
24,144	29,612	29,805	30,957	30,517

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R3	R4	R5	R6	R7
30,274	30,274	30,274	30,274	30,274

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

令和7年度の利用者数は、周年事業がなかったため、令和6年度と比較して、3,344人減少した。

施設の利用率は、大ホール55%（令和6年度比1割増）となった一方、小ホールは、ダンス公演や大ホールとの一体的な利用が減少したことから、48%（令和6年度比7割減）となった。これに伴い、利用料金は440千円の減収となったが、周年事業のない年度と比較すると増となっている。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・主催事業の内容を来館者にわかりやすく伝えるため、専用サイネージを設置してPR映像等を流し、視覚的な情報発信を行っている。
- ・ホール利用者の要望に的確に応えられるよう、舞台音響・舞台照明の技能資格を持つ職員を配置している。
- ・ユニバーサルサービス講座を受講し、高齢者や体の不自由な方への介助技術を学んだサービスケアアテンダント有資格者を配置し、接客に当たっている。
- ・利用料金やチケット代金の支払い方法として、現金、銀行振込のほか、平成26年度からクレジットカード、平成29年度から電子マネー、令和2年度から二次元コード決済を導入し、利便性の向上を図っている。令和5年度からは、ミラージュホール・クルー会費等の支払いでも二次元コード等のキャッシュレス決済に対応している。
- ・平成30年度に更新した独自のチケット販売システムは、県内の各種イベントチケットのコンビニエンスストアでの決済・発券にも対応している。
- ・来館者の利便性を図るため主催事業の際に運行してきた交通サービス「シャトルタクシー」に代わり、令和6年度からは、魚津市の協力を得て、予約不要で利用できる、より公共性の高い交通手段とである市民バスの臨時便を運行している。
- ・令和6年度から、催事や客層に応じて、大ホールへの入場経路を1階からの導線に変更し、高齢者や歩行困難者の負担軽減と来場者の利便性向上を図った。
- ・令和7年度から、県外からも来館者が数多く見込まれる主催事業において、地域の宿泊施設と連携し、公演チケットと宿泊や送迎をパッケージ化したプランを提供した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・令和2年度に県が整備した有線LANとデジタル映像配信設備を利用者に積極的に広報するとともに、インターネット環境、LANケーブル等の貸出を無料で行い、利用促進を図っている。
- ・平成26年度からホームページにリアルタイムな施設の空き状況を掲載し、令和7年度からは、インターネットでの施設予約が可能になり、利便性の向上を図っている。
- ・文化教室などの定期利用の募集や会館独自の併用割引などの利用料金割引制度の広報を行っている。
- ・令和6年度に施設案内リーフレットを、来館者等に分かりやすいよう図・写真・イラストを多く取り入れリニューアルした。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	施設利用者/通年(アンケートBOX設置、配布等) 事業観覧者/入場時にアンケート用紙を配布
回答者数	施設利用者：130件、事業観覧者：1,603人
結果	施設利用者：満足83%、事業観覧者：満足92%
結果を踏まえた改善事項	概ね満足されている接遇や清掃状況については、更に満足度向上を図るとともに、空調等に関する不満の解消に向け、計画的な修繕に努める。

②その他利用者の声を反映させる取組み

- ・支援団体（新川文化ホール振興協議会、ミラージュホール・クルー）の会合時における要望や意見の聴取
- ・市内各種文化団体の会合時における意見の聴取
- ・ホームページ上に「ご意見箱」を設け、意見や評価の収集している。

③主な苦情と対応

- ・小ホール客席入口から楽屋までの通路に段差があり、転倒の可能性があるのではなかしてほしい。
⇒段差に視認性の高いテープと注意喚起ステッカーを貼り付けて対応した。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報を管理する責任者が決められ、適切に管理されている。

(6) 関係団体との連携

令和7年9月に新川文化ホール振興協議会と指定管理者との間で、地域社会の発展と心豊かな地域づくりに寄与することを目的とした包括連携協定を締結した。また、設立30周年を迎えたミラージュホール・クルーについては、各種記念事業の実施に協力をした。さらに、新川地域の文化施設及び関係行政との連携を図り、地域住民のニーズに応じた事業を開催している。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・舞台機構の点検チェックリスト等を作成し日頃から安全点検を徹底した。
・非常時のマニュアルや連絡表を作成するとともに、防災訓練の実施や各種機器の点検なども着実に実施している。
・令和6年度から魚津市との協定により「指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)」に指定され、さらに適切な温度管理及び空間の確保に努めている。
・令和7年度からホール利用者に対し、災害発生時における対応について事前に打合せを行い、確認している。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
③個人情報に関するトラブルの有無
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・利用者に安全・安心で快適な施設環境と、きめ細かな質の高いサービスを提供するとともに、多様化する利用者ニーズの把握、積極的な情報発信に努め、施設利用の促進に努めてもらいたい。
・老朽化が進んでいる施設設備について、今後の改修・修繕に向け効果的・経済的な方法などの情報収集に努めるとともに、故障等により利用者サービスが低下しないよう日常の保守点検や維持管理を適切に行う必要がある。
・県東部地域の芸術文化団体、地元支援団体、地元アーティストとの連携をさらに深め、地域に根差した事業を展開し、より一層県民に親しまれる施設運営に取り組んでももらいたい。